

# Cardiovascular Catheterization Using New Antiseptic Agent Olanexidine Gluconate

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2021-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松本, 貴宏 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002592">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002592</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2323 号

Cardiovascular Catheterization Using New Antiseptic Agent Olanexidine Gluconate

新しい消毒薬オラネキシジングルコン酸塩を用いた心血管カテーテル検査と治療

松本 貴宏 (まつもと たかひろ)

博士 (医学)

論文内容の要旨

1.5%オラネキシジングルコン酸塩(Olanedine®， Otsuka Pharmaceutical Factory, Tokushima, Japan)は2015年9月に発売された無色透明の消毒薬であるが、心血管カテーテル検査と治療時にそれを用いた報告はない。今回、我々は Olanedine®を心血管カテーテル検査と治療時に用い、その有用性と安全性について検討した。対象は2018年3月から2019年9月まで当院で心血管カテーテル検査と治療を行った連続1001名(男性649例、平均年齢72.1±9.6歳)であった。手技の内訳は心臓カテーテル検査624例、冠動脈インターベンション288例と血管内治療89例であった。消毒部位の皮膚観察、カテーテル検査と治療前後の血液検査や綿を含んだ衣服の変色の有無も確認した。1例あたりの Olanedine®の使用量は約20mLであった。軽度の皮疹(搔痒感なく1日以内に消失)が1例(0.10%)のみに生じた。検査前後の血液検査では一部、有意差を認めたが、臨床的には関連性はないと考えられた。血液透析患者(117例)にも全く問題なく使用でき、エタノール消毒液禁忌とされている37例の使用も問題なかった。Olanedine®には色素がないため、術後に拭き取る必要はなく、綿を含んだ白衣に付着したポビドンヨード(PI)のように衣服を変色させることもなかった。Olanedine®は安全性が高く、PIのような色素による問題も全くなく、心血管カテーテル検査と治療の新しい有用な消毒薬の選択肢になる可能性が示唆される。